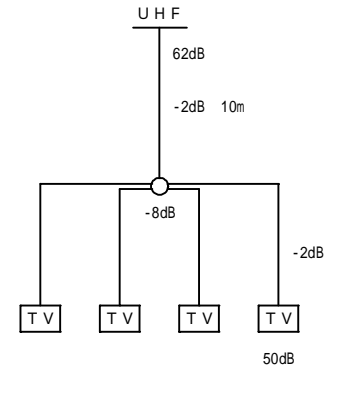
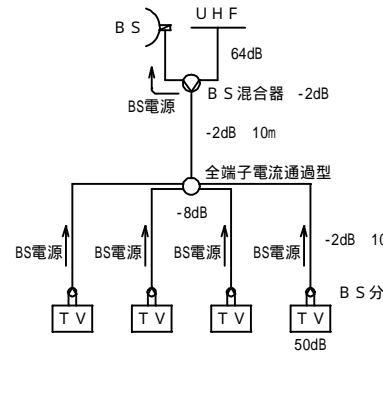
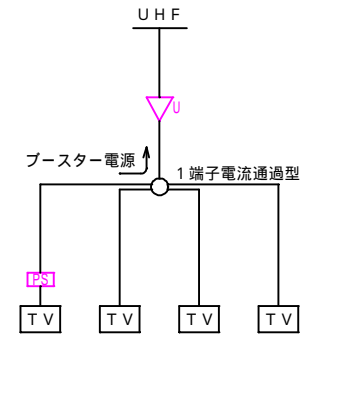
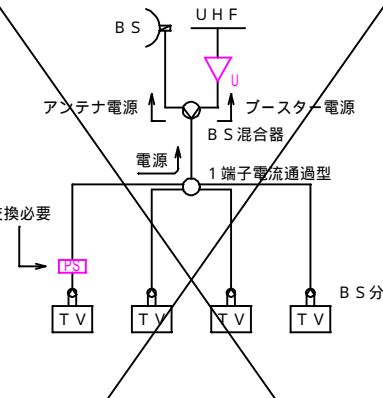
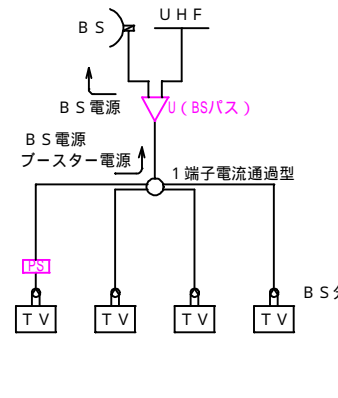


プー ス ター 不 使 用	<p>地デジだけ</p> 	<p>地デジとBS</p>  <p>BSアンテナの電源は、各テレビから送ります。よって、分配器は、全端子電流通過型でなければなりません。</p>	<p>必要レベル（テレビ入力コネクタにて）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログVHF 55dB～</li> <li>アナログUHF 60dB～</li> <li>アナログBS 46～89dB</li> <li>デジタルUHF 50～81dB</li> <li>デジタルBS 50～81dB</li> </ul> <p>亀田サテライト局からの受信レベル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログUHF 65dB</li> <li>デジタルUHF 55dB</li> </ul> <p>由利本荘市CATVでの保証レベル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログVHF 70dB</li> <li>デジタルUHF 60dB</li> <li>デジタルBS</li> </ul> <p>45cmBSアンテナの出力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アナログBS</li> <li>デジタルBS 80dB</li> <li>デジタルCS</li> </ul>	<p>我が亀田サテライトの場合、デジタルの出力電力は0.01Wです。よって、受信アンテナの出力は、50～60dBくらいと思われます。</p> <p>本図では、テレビは直結かテレビ端子使用を考えています。もし、直列ユニットを使用する場合は、ロスが10dB増えます。</p> <p>DVDやBDを經由してテレビに接続する場合は、ロスが4dB増えます。</p> <p>UHFアンテナやUHFプースターに、アナログとデジタルの区別はありません。既存のUHFアンテナやUHFプースターは、そのまま使えます。</p> <p>分配器や同軸ケーブルには、地上とBSの区別があります。BSアンテナを後で追加した場合、信号を伝送できない場合があります。</p>
	プー ス ター 使 用	<p>地デジだけ</p>  <p>プースター電源は、電源部から送られます。よって、分配器は、1端子電流通過型を使用できます。</p>	<p>地デジのみプー</p>  <p>左図に、後でBSアンテナを追加したものです。一見良さそうに見えますが、実はダメです。BSアンテナの電源も必要になりますので、電源容量が不足するためです。つまり、電源部を交換する必要があります。</p>	<p>地デジのみプー</p>  <p>地デジのみプーする場合でも、BSアンテナ電源も考慮しなければなりません。つまり、このUHFプースターは、BSアンテナにも電源を供給するタイプです。</p>